

## 2) 最後まで噛み合わなかった郵政民営化論議

年 表

年	小泉総理、政府・与党の動き	岡田克也、民主党の動き
H13	4.26 小泉内閣発足 5.7 総理、最初の所信表明演説で郵政民営化に言及 7.29 参院選	7.29 参院選
H14	7.24 日本郵政公社法成立	12.13 民主党幹事長に就任
H15	4.1 日本郵政公社設立、民間人の生田氏が総裁に就任 10.3 経済財政諮問会議、郵政民営化の基本5原則を了承 11.9 総選挙	11.9 総選挙 25 <予算委>郵政民営化について初めて総理と質疑、民営化の本質とは何かを問う
H16	4.26 経済財政諮問会議、郵政民営化中間報告を了承 7.11 参院選 9.10 「郵政民営化に関する基本方針」を閣議決定 12.21 自民党、「郵政改革についての申入れ」を政府に提出	5.18 民主党代表に就任 7.11 参院選 10.13 <本会議>代表質問に立ち、「郵貯・簡保は本来は民営化が筋」と明言
H17	4.27 政府・与党が郵政民営化法案について合意、閣議決定	1.24 <本会議>小泉郵政民営化の問題点を指摘、不十分な答弁に対し再質問するも総理は答弁を拒否、民主党は抗議の退席 3.10 民主党『次の内閣』、「郵政改革に対する考え方」を了承 4.20 <党首討論>官業肥大化のおそれ、政府のずさんな収益試算など民営化案の問題点を総理に質す 6.2 <予算委>代表として総理と最後の

年	小泉総理、政府・与党の動き	岡田克也、民主党の動き
	<p>7.5 衆院本会議で郵政民営化法案が一部修正の上、5票差で可決</p> <p>8.8 参院本会議で郵政民営化法案が17票差で否決、衆院解散</p> <p>9.11 総選挙で郵政民営化を掲げた自民党が大勝</p> <p>10.14 郵政民営化法成立</p>	<p>郵政民営化論議、政府案では民営化は成功しないと確信</p> <p>7.3 都議選で民主党躍進</p> <p>9.11 総選挙大敗の責任を取り、代表辞任を表明</p>
H18	<p>1.23 日本郵政株式会社設立</p>	<p>3.2 &lt;予算委&gt; 郵政持株会社の民営化スケジュールなどの具体的問題点を問うも、総理は竹中総務相に答弁を丸投げ</p>